

東京YMCA社会体育・保育専門学校スポーツトレーナー科  
第2回教育課程編成委員会議事録

日 時：令和元年10月26日（土）18：00～19：30

場 所：東京YMCA社会体育・保育専門学校1階会議室

出席者：萩 裕美子、星住 秀一、堀 雄二、佐治克彦、杉内 伸生

I. 学校長全般報告

前回の委員会開催後の学内の様子、実習、今年の就職状況について報告がなされた。（堀校長）

II. 前回議事録の確認

別紙資料にもとづき、前回の提言を受け、学科にて検討した内容の報告がなされた。（杉内学科長）

III. 協議

- ・パーソナルトレーナーの希望者が増えその対応を充実しているようだが、マンツーマンや少人数でピンポイントの内容を指導する指導法を身に着けることを重視しても、総合的な指導、集団指導の力が減じてはならない。（萩委員）
- ・アスレティックトレーナーを目指していた学生がパーソナルトレーナー等に興味をもったときに、より細かな指導を行い、新しい目標へ積極的に導いていくことが重要ではないか。（星住委員）
- ・学生の多様なニーズに学校側が対応できるよう、卒業生のネットワークを利用するなどして、学生の心に響くアドバイスや目標設定をする体制を構築できれば、改善できる。（佐治副校長）
- ・近年の学生の質の変化に対応して、教育手法を考えることは、毎年行われているが、より個人に対応できるように教職員の意識をさらに高める必要がある。（堀校長）
- ・コミュニケーションが苦手な学生が実習先で、新しい自分を見つけた例があった。好きを仕事にすることの楽しさを学生にもっと分かり易く伝えて行くと、学習効率も上がるのではないか。（星住委員）
- ・改善提案内容が十分に実行されているかの確認が必要である。今までの例では、教科の先生に一任されている部分が多い。（佐治副校長）

IV. その他

堀校長より、来年の夏はオリンピック・パラリンピックでスポーツに対する社会の見方がまたひとつ深まる可能性がある。本校の学生にも間接的直接的にボランティアなどを通じてその意識を高め、将来現場で活躍して欲しいと願っている旨挨拶があり、委員会を閉会した。

以上

記録 佐治克彦